

公開シンポジウム 20 世紀アジアを振り返る —国際関係と国家建設の視点から—

主催：公益財団法人 日本国際問題研究所

7 月 6 日（金）
於：国際文化会館

現在のアジアの顕著な特徴として、世界の他の諸地域との比較において、大規模な国家間戦争や内戦が起きていないという意味で「平和」であり、経済的には GDP が急成長していることから「繁栄」していることが指摘できます。また、東アジアの政治システムは多様である一方、失敗国家や崩壊国家というものは存在していません。

このような東アジアの現状を理解するために、本シンポジウムでは、東アジアの歴史を「国際関係」と「国家建設」という視点から紐解くことで、国際関係上の出来事や国家間相互の関係がいかによりそれぞれの国家の枠組みや社会を形成してきたのかを明らかにするとともに、国家建設を個別に完結したダイナミクスとしてとらえることを超え、より動的に 20 世紀のアジア史を捉えなおします。

プログラム概要

9:40 - 9:45 開会の辞 佐々江賢一郎 日本国際問題研究所理事長
9:45 - 10:00 主査挨拶・趣旨説明 田中明彦 政策研究大学院大学（GRIPS）学長

第一部「20 世紀の東アジアと国際関係」（10:00 - 11:30）

モデレーター：田中明彦 政策研究大学院大学（GRIPS）学長

10:00 - 10:05 モデレーターによる趣旨説明

10:05 - 10:25 「20 世紀初頭の東アジア—1900-1930 年」

北岡伸一 国際協力機構（JICA）理事長

10:25 - 10:45 「近代日中関係の critical juncture-21 か条要求・満州事変・日華平和条約」

川島真 東京大学教授

10:45 - 11:15 パネルディスカッション：

浅野豊美 早稲田大学教授

高原明生 東京大学教授

11:15 - 11:30 フロア Q&A

11:30 - 13:00 昼食休憩

第二部「東アジアにおける国家・地域建設—韓国・香港・台湾を事例として—」 (13:00 - 14:30)

モデレーター：高原明生 東京大学教授
13:00 - 13:05 モデレーターによる趣旨説明
13:05 - 13:25 「韓国の経済成長：台湾・日本・米国との比較」 金洛年 東国大学校教授
13:25 - 13:45 「韓国における国家形成とその変容：脱植民地化をめぐる競争・「企業国家」による体制競争・ポスト体制競争下の「先進国化」」 木宮正史 東京大学教授
13:45 - 14:15 パネルディスカッション： 倉田徹 立教大学教授 張隆志 台湾中央研究院台湾史研究所研究員
14:15 - 14:30 フロア Q&A

14:30 - 14:40 休憩

第三部「東南アジアにおける国家建設—インドネシア・ビルマ（ミャンマー）・ベトナム・シンガポール・フィリピンを事例として—」 (14:40 - 16:10)

モデレーター：早瀬晋三 早稲田大学教授
14:40 - 14:45 モデレーターによる趣旨説明
14:45 - 15:05 「インドネシアの国家建設：分裂の危機と克服の政治史」 相沢伸広 九州大学准教授
15:05 - 15:25 「ビルマ（ミャンマー）国家建設の歴史過程—3度の挫折と4度目の挑戦」 根本敬 上智大学教授
15:25 - 15:55 パネルディスカッション： 栗原浩英 東京外国語大学教授 田村慶子 北九州市立大学教授 高木佑輔 政策研究大学院大学助教授
15:55 - 16:10 フロア Q&A

16:10 - 16:15 閉会の辞

相航一 日本国際問題研究所所長代行